

大槻義一さん
キミ子さん
プロフィール

義一さん：昭和10年生まれ89歳。
キミ子さん：昭和13年生まれ86歳。「あの夫婦はいつも元気に働いていて素晴らしい」とご近所の人から推薦いただきました。



▲自作の宝船と人形を手にした大槻夫妻

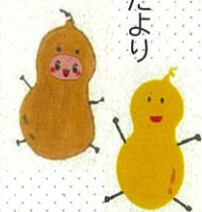
岩代地域で仕事や趣味、ボランティア等に携わり、元気に暮らしている高齢の方を紹介。第三回は、東新殿でキュウリ栽培をしている大槻義一さんと奥様のキミ子さんを紹介します。

今年も夫婦でキュウリを出荷することに。趣味の創作活動やドライブも一緒に楽しんでいます。

「めざせ！生涯現役」シリーズ③

かわら版
いわし

集落支援員だより



「がむしゃらに働いた人生。今もやっぱり働いています（笑）」
義一さんは農家の長男として生まれ、中学を卒業後、七人の弟たちの学費を稼ぐために十年ほど炭焼きの仕事に従事しました。奥様とは幼なじみで義一さん二十歳、キミ子さん二十歳のときに結婚。当時は親夫婦、祖父母夫婦と三世代で同居しており、夫婦で一緒に炭焼きに出かけたそうです。その後、葉タバコや養蚕を手掛かり、冬に出稼ぎに行った時期もありましたが、稲作と野菜づくりはずっと継続しています。今は「がむしゃらに働きました。今はキュウリ栽培が中心で、最盛期は苗を千本仕入れました。もう年なので去年は六百本、今年は四百本に減らしました」と義一さん。六月末から九月は早寝早起きで、毎朝四時に起床して野菜を収穫し、午前八時に新殿の農協へ出荷するのが日課だそうです。



▲「1本の苗から150本のキュウリを収穫するのが目標」とのこと

「冬期は藁で宝船を編んだり、人形を作ったりしています」
義一さんは以前、農閑期になると新殿神社のしめ縄を編んでいたが、神社の総代から「編み方を教えてほしい」と乞われて手ほどきし、約五年前に若い世代に引き継ぎました。義一さんはネットを編んで、藁で宝船を編むことに挑戦中です。「いろいろな試行錯誤しながら自分なりに工夫しています」



▲干支にちなんで手作り。右の置物は夫婦の共同作品



◆取材を終えて
夫婦二人三脚、仕事も趣味も楽しんでいる様子のおふたりの若々しい笑顔が印象的でした。八十歳を過ぎてからスマートフォンに替えてネット検索を活用していると、義一さんの好奇心や思考の柔軟さにも驚かされました。

昔から手先が器用なキミ子さんが大好きで、冬の間は義一さんと一緒にいろいろな作品づくりを夢中になるそうです。
「今年は辰年だったのでうちの人は竜の宝船を、私はタツノオトシゴのぬいぐるみを作りました。たまに『どこかがやばっせ』と言うと、ドライブにも連れて行ってもくれます。春は桜や花桃がきれいでしたよ（笑）」

Q&A形式で
大槻ご夫妻の人となりを紹介

大槻夫妻へのインタビューではおふたりの仲良しぶりが伝わってきました。次に紹介します。

Q.岩代の好きな風景は？

→「自分の家が一番。川のせせらぎも聞こえるので、『旅館みたいでいいな』とよく周りの人にも言われます」

Q.人生で一番深刻に感じたことは？

→「50代でガン宣告されたときはショックでした。当時はまだガンになる人も今ほど周りで聞かなかったの。手術して大腸を2回切りました」（義一さん）
→「あの時は本当に心配しました。今、こうして一緒に居られて嬉しいです」（キミ子さん）

Q.健康のために気をつけていることは？

→「5年ほど前、お風呂で転倒してからお酒を減らしました。一カ月かけて一升瓶を空ける程度です」（義一さん）
→「骨がもろくなっているの、転ばないように気を付けています」（キミ子さん）

Q.好きな食べ物は？

→「柏餅」（義一さん）
→「寿司」（キミ子さん）



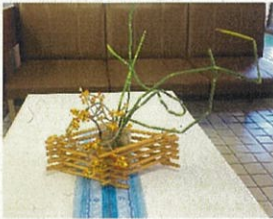
▲大槻さんの自宅の庭からの眺め。口太川のせせらぎが聞こえてきます

★岩代ほっこりスポット案内★

～岩代支所で野の花の魅力や季節を感じてください♪～

今年5月から岩代支所に生け花が飾られています。草月流の渡辺艶愁さんによる作品です。「草月流は、身近な草花や野の植物を用いて自由度が高いのが特徴です。岩代支所で、お花を見てホッとしていただけたら嬉しいですよ」と渡辺さん。

支所のカウンターや待合室のテーブルに飾られています。



▲竹を花器の代わりにして花を生けたり、空き箱や包装紙など身の回りにあるものがモダンな花器や敷物に変身したりします。興味深いアイデアがいっぱいです。



★渡辺艶愁さん★

(本名：渡辺艶子さん)

反町在住。「生け花の原点は自然です。野の花を生けることで自然を感じてゆったりと時間を過ごしてほしいです」

問い合わせ：☎0243-55-3633



◆れいわクラブ◆会員数：14人。うち60代1人、70代6人、80代4人、90代3人。毎週火曜日13時30分～15時まで西勝田西部会館で行われています。

令和元年に発足した「れいわクラブ」では、体力・筋力づくりを目的として、「ほんとの空体操」と「百歳体操」を行っています。この日は十二人が集まり、重りを用いて一時間ほど運動を行いました。百歳体操の効果を皆さんにたずねたところ、「筋力は付いたけど、年もとったからなあ」「杖はまだ使えないな」「ここへ毎週来れるってことは元気があっていいな！」「みんな楽しい意見が飛び出し、雰囲気の良い時間を過ごしました。」



▲腕や脚に一キロの重りを付けます

♪れいわクラブの皆さんに聞いてみました！

この日参加した皆さんに趣味や日常生活の過ごし方、健康管理等について質問したところ、様々な回答が返ってきました。

Q. サロンに来て良かったと思うことは？

→みんなで笑って話せること。週に一度会えるので連絡などもサロンの場で伝えられる。見守りや情報交換になっている。

Q. 自宅での過ごし方は？楽しみや特技は？

→畑仕事や草刈り（畑や家の周辺を荒らしたくないから）。

→グラウンドゴルフ、ゲートボール、カラオケなど

Q. 健康のために気を付けていることは？

→お酒の量を減らしつつも毎日少しだけ飲んでいる。

→野菜づくりが運動になっていると感じる。

→週に一度の百歳体操で元気でいられると感じる。

サロン
訪問記

西勝田西部・れいわクラブ「継続は力なり。百歳体操の効果を実感しました」

岩代の歴史シリーズ

西属の将 石川弾正の生涯 ⑭

いしかわだんじょうけんしょうかい
石川弾正顕彰会事務局長
日下部善己

十三塩松石川氏の文化的遺産(前編)
塩松石川氏は地域開発を進める一方、寺社仏閣の創設等いわば文化施設整備による文化振興事業にも積極的に取り組んでいる。百目木の虚空蔵堂の造営、菩提寺江月山長泉寺の創設、八幡神社の創設、さらに日山旭神社の屋根葺替えである。
これらにより領民の安心安全を保ち、日常の豊かな暮らしを願ったものと思われる。
現在まで続く塩松石川氏(弾正)の文化的遺産を紹介する。
八幡神社・百目木城主石川弾正が、館山に城郭を構築するに当たって、九州の宇佐八幡宮に上移館主田村宮内を名代とし、家臣を派遣しその分霊を現在の地に移した。弘治元年(一五五五)三月十五日のことでありこの地を八幡山と名付けて霊所としたという。祭神は誉田別尊である。
江月山長泉寺・戦国時代の長享年間(一四八七～一四八八)、永岸和尚が開山と伝える。江戸期には田村三春万年山天澤寺第十一世峰室太雄和尚が、江月山長泉寺第一世となり新たなスタートとなる。本尊は聖観世音菩薩である。

岩代地域世帯の主な収入は会社員収入！

令和4年度に実施しました「集落実態調査」によりまずと、世帯の主な収入は次の表のとおりです。（上太田地区は新殿地区に含めました。）

世帯の主な収入		世帯数	農業	商業	自営	会社員	その他(年金等)
小浜地区		937	39 4.2%	12 1.3%	92 9.8%	471 50.3%	323 34.5%
新殿地区		601	64 10.6%	3 0.5%	35 5.8%	323 53.7%	176 29.3%
旭地区		365	57 15.6%	3 0.8%	29 7.9%	154 42.2%	122 33.4%
合計		1,903	160 8.4%	18 0.9%	156 8.2%	948 49.8%	621 32.6%

※ 上太田地区は新殿地区に含めました。 ※ %表示は、地域・地区の占有率

○ 農業

かつては基幹産業であった農業が主な収入となっている世帯は、岩代地域全世帯の8.4%、160世帯と1割にも満たない状況となっています。

原発事故を起因とした農業離れによる農地の荒廃、害獣による被害の増加、従事者の高齢化や後継者不足、農業機械の老朽化、農業資材の高騰、作物価格の低迷など農業を取り巻く逆風の要因を挙げればきりがありません。

農業が衰退していることが見てとれます。

○ 商業

商業が主な収入となっている世帯は、岩代地域全世帯の0.9%、18世帯です。

昭和初期には170戸ほどの商店（最も多かったのが繭や生糸を集める仲買業でした。）が軒を連ね、「小浜の町に帯買いに…」と子守歌にもうたわれた小浜の中心街でしたが、現在は小浜地区全体でも12世帯となってしまいました。

近隣の地域及び市町村への大型店の進出により、安価で商品の豊富な大型店での買物や「ついて買い」、さらには人口の減少、高齢化などの影響により地元商店が閉店を余儀なくされ商店が減り、商店街の魅力が減少し、消費者は大型店での買物に…と悪循環になっていると思われます。

車のない高齢者にとって地元には商店がないのは大変不便です。しかし、商業の衰退は顕著です。

○ 自営業

自営業が主な収入となっている世帯は、岩代地域全世帯の8.2%、156世帯です。

○ 会社員

会社勤めが主な収入となっている世帯は、岩代地域全世帯の49.8%、947世帯で、岩代地域の約半数の世帯が会社員の収入により生計を立てています。それでは、どこへ通勤しているのでしょうか。次の表のとおりです。

○ その他（年金等）

その他（年金等）が主な収入となっている世帯は、岩代地域全世帯の32.6%、621世帯です。岩代地域の3世帯に1世帯は主な収入が年金等となっています。

会社員の勤め先

	岩代地域	二本松地域	安達地域	東和地域	大玉村	本宮市	三春町	田村市	川俣町	福島市	郡山市	その他
小浜地区 (34世帯)	117 24.8%	130 27.6%	32 6.8%	9 1.9%	6 1.3%	58 12.3%	2 0.4%	5 1.1%	4 0.8%	51 10.8%	30 6.4%	27 5.7%
新殿地区 (25世帯)	45 13.9%	85 26.3%	12 3.7%	23 7.1%	5 1.5%	31 9.6%	9 2.8%	29 9.0%	3 0.9%	30 9.3%	36 11.1%	15 4.6%
旭地区 (25世帯)	33 21.4%	33 21.4%	5 3.2%	7 4.5%	1 0.6%	12 7.8%	3 1.9%	14 9.1%	10 6.5%	10 6.5%	17 11.0%	9 5.8%
岩代地域 (64世帯)	195 20.6%	248 26.2%	49 5.2%	39 4.1%	12 1.3%	101 10.7%	14 1.5%	48 5.1%	17 1.8%	91 9.6%	83 8.8%	51 5.4%

※ 上太田地区は新殿地区に含めました。 ※ 網掛けはヘスト3

※ %表示は、地域・地区の占有率

小浜地区(会社員471世帯)では、①二本松地域 130世帯(27.6%) ②岩代地域 117世帯(24.8%) ③本宮市 58世帯(12.3%) ④福島市 51世帯(10.8%) ⑤安達地域 32世帯(6.8%)
新殿地区(会社員323世帯)では、①二本松地域 85世帯(26.3%) ②岩代地域 45世帯(13.9%) ③郡山市 36世帯(11.1%) ④本宮市 31世帯(9.6%) ⑤福島市 30世帯(9.3%)
旭地区(会社員154世帯)では、①二本松地域 33世帯(21.4%) ①岩代地域 33世帯(21.4%) ③郡山市 17世帯(11.0%) ④田村市 14世帯(9.1%) ⑤本宮市 12世帯(7.8%)
岩代地域全体(会社員948世帯)では、①二本松地域 248世帯(26.2%) ②岩代地域 195世帯(20.6%) ③本宮市 101世帯(10.7%) ④福島市 91世帯(9.6%) ⑤郡山市 83世帯(8.8%)

二本松市内(二本松・安達・岩代・東和地域)への通勤は、小浜地区が61.1% 新殿地区51.1%、旭地区50.6% 岩代地域全体では56.0%ですが、岩代地域への通勤は20.6%であり、集落の維持に関し「働く場が少ない」が「不安」とされていることがここに表れています。

☆主な買い物先

主な買い物先(複数回答可)

	岩代地域	二本松地域	安達地域	東和地域	大玉村	本宮市	田村市	川俣町	福島市	郡山市	合計
小浜地区 (34世帯)	32 20.3%	34 21.5%	34 21.5%	2 1.3%	23 14.6%	18 11.4%	5 3.2%	0 0.0%	5 3.2%	5 3.2%	158 100%
新殿地区 (25世帯)	10 8.8%	24 21.1%	20 17.5%	6 5.3%	9 7.9%	7 6.1%	24 21.1%	3 2.6%	6 5.3%	5 4.4%	114 100%
旭地区 (25世帯)	13 16.3%	16 20.0%	6 7.5%	4 5.0%	4 5.0%	2 2.5%	25 31.3%	6 7.5%	2 2.5%	2 2.5%	80 100%
岩代地域 (84世帯)	55 15.6%	74 21.0%	60 17.0%	12 3.4%	36 10.2%	27 7.7%	54 15.3%	9 2.6%	13 3.7%	12 3.4%	352 100%

※ 上太田地区は新殿地区に含まれました。 ※ 網掛けはベスト3 ※ %表示は、地域・地区の占有率

小浜地区(158件)では、①二本松地域 34件(21.5%) ①安達地域 34件(21.5%) ③岩代地域 32件(20.3%) ④大玉村 23件(14.6%) ⑤本宮市 18件(11.4%)
新殿地区(114件)では、①二本松地域 24件(21.1%) ①田村市 24件(21.1%) ③安達地域 20件(17.5%) ④岩代地域 10件(8.8%) ⑤大玉村 9件(7.9%)
旭地区(80件)では、①田村市 25件(31.3%) ②二本松地域 16件(20.0%) ③岩代地域 13件(16.3%) ④安達地域 6件(7.5%) ⑤川俣町 6件(7.5%)
岩代地域全体(352件)では、①二本松地域 74件(21.0%) ②安達地域 60件(17.0%) ③岩代地域 55件(15.6%) ④田村市 54件(15.3%) ⑤大玉村 36件(10.2%)

二本松市内での買物は小浜地区が64.6%、新殿地区52.6%、旭地区48.8%、岩代地域全体では57.1%ですが、岩代地域での買物は15.6%にとどまっております。地元商店が苦境に立っている姿が浮かび上がります。新殿、旭地区では田村市での買物が第1位となっております。

☆主な通院先

主な通院先(複数回答可)

	岩代地域	二本松地域	安達地域	東和地域	大玉村	本宮市	田村市	川俣町	福島市	郡山市	合計
小浜地区 (34世帯)	34 29.1%	34 29.1%	24 20.5%	0 0.0%	0 0.0%	11 9.4%	1 0.9%	0 0.0%	8 6.8%	5 4.3%	117 100%
新殿地区 (25世帯)	18 18.2%	25 25.3%	18 18.2%	5 5.1%	0 0.0%	5 5.1%	11 11.1%	1 1.0%	9 9.1%	7 7.1%	99 100%
旭地区 (25世帯)	24 24.7%	23 23.7%	9 9.3%	3 3.1%	0 0.0%	2 2.1%	23 23.7%	1 1.0%	6 6.2%	6 6.2%	97 100%
岩代地域 (84世帯)	76 24.3%	82 26.2%	51 16.3%	8 2.6%	0 0.0%	18 5.8%	35 11.2%	2 0.6%	23 7.3%	18 5.8%	313 100%

※ 上太田地区は新殿地区に含まれました。 ※ 網掛けはベスト3 ※ %表示は、地域・地区の占有率

小浜地区(117件)では、①岩代地域 34件(29.1%) ①二本松地域 34件(29.1%) ③安達地域 24件(20.5%) ④本宮市 11件(9.4%) ⑤福島市 8件(6.8%)
新殿地区(99件)では、①二本松地域 25件(25.3%) ②岩代地域 18件(18.2%) ②安達地域 18件(18.2%) ④田村市 11件(11.1%) ⑤福島市 9件(9.1%)
旭地区(97件)では、①岩代地域 24件(24.7%) ②二本松地域 23件(23.7%) ②田村市 23件(23.7%) ④安達地域 9件(9.3%) ⑤福島・郡山市 6件(6.2%)
岩代地域全体(313件)では、①二本松地域 82件(26.2%) ②岩代地域 76件(24.3%) ③安達地域 51件(16.3%) ④田村市 35件(11.2%) ⑤福島市 23件(7.3%)

二本松市内への通院は小浜地区が78.6%、新殿地区66.7%、旭地区60.8%、岩代地域全体66.8%ですが、岩代地域への通院は24.3%となっております。旭地区では田村市への通院が2位の23.7%であり、新殿地区は4位で11.1%。買い物も含めて新殿・旭地区では田村市が生活圏となっております。今後、車を運転できなくなる世帯が増えてくることか予想されており、生活圏までの足をどうするか。岩代地域の大きな課題であるといえます。